信濃毎日新聞社による複合施設「信毎（しんまい）メディアガーデン」2018年4月28日（土）長野県松本市にオープン

建築：伊東豊雄、グラフィックデザイン：柿木原政広、商業ゾーンプロデュース：山田遊
家具デザイン：藤森泰司、コミュニティデザイン：山崎亮

© kuramochi+ oguma

信濃毎日新聞社は、松本本社の移転新築に伴い、市民に開放するコミュニティゾーンとショップゾーン、オフィスを備えた複合施設「信毎メディアガーデン」を、2018年4月28日(土)に長野県松本市の中心市街地に開業いたします。
建物はルーバー状の外壁と木製の窓枠が特徴的な、地下1階、地上5階建て、延べ床面積8,143m²で、下諏訪町で育った世界的な建築家、伊東豊雄氏が設計を手がけました。

「信毎メディアガーデン」は、1階の「ホール」や屋外広場の「スクエア」をはじめ、3階の「スタジオ」や「キッチン」、2、3階の「テラス」など、演奏会や演劇、展示会など多彩な催しが可能な多目的スペースを構え、市民活動や多文化交流、文化発信の拠点を目指します。また、4階、5階には、信濃毎日新聞社松本本社と、信毎メディアガーデンの開業に合わせて創刊する「MGプレス」の編集室が入居します。

そして、1階～3階のショップでは、松本初出店の業態や、新業態も含めた飲食店や物販店、外国語学校など合計11店舗がオープン。市民の方々をはじめ、国内外の観光客の方々が気軽に足を運べる複合施設として、松本に新しい価値を提案していきます。

建築コンセプトについ｜伊東豊雄（株式会社伊東豊雄建築設計事務所）

信毎メディアガーデンとは

・信毎メディアガーデンは文化都市・松本の中心に位置し、新聞社の
オフィス機能だけでなく、県民に開かれた公共空間を備えた施設である

・信毎メディアガーデンは緑と水の庭園に囲まれた屋外／屋内の広場を持ち、
各種イベントに対応するだけでなく、カフェや子供の遊び場にも供される

・信毎メディアガーデンは地域に密着した情報提供と同時に、外部からの
訪問者への観光案内、県民からのリクエストにも応じる「まちなか情報局」を持つ

・信毎メディアガーデンはレストランなど商業施設の間にスタジオ、
料理教室などを備え、市民のさまざまな活動を支援する場を提供する

・信毎メディアガーデンは屋上に太陽光パネルを備え、外部環境にも
開かれた快適で省エネルギーを実現するオフィス空間を提供する

伊東豊雄

ロゴデザインについ｜柿木原政広（株式会社10）

信毎
MEDIA
GARDEN

このロゴは、新聞の組版をモチーフにデザインしています。

日々変化する情報を、新聞紙上でどのような大きさや割合で見せていくのか、
それが組版です。

そこに現れるのは新聞社としての確固たる意志であり、その意志をシンボル化して
います。

また、メディアガーデンはオープンな環境を作ることで地域と関わり、

新たな情報や価値を生み出す空間を目指しています。
このロゴがそんな意志に寄り添うことができれば嬉しいです。

柿木原政広

商業ゾーンについ｜山田遊（method）

近年アメリカでは、ECサイトの普及に伴い、郊外型の大規模SCの展開が、限界を迎え、衰退へと向かっています。彼の国で今起こっていることは、日本でも近い将来、十分に起こり得ることです。

このような時代の最中で、今、日本の地方都市で新たにつくるべき商業施設とは、一体どんなものなのだろうか?そんな命題を考えながら、松本の中心市街地にオープンする「信毎メディアガーデン」のショップゾーンのプランを練りました。

松本の土地で日々生活を送る市民、この場所で働く信濃毎日新聞社の社員、国内外を問わず松本を訪れる多くの観光客、その三者にとって、テナント数は少なくとも、近隣に店舗も構える、商業デベロッパーのPARCOさんの協力を仰ぎながら、新たな意味での「三方良し」となるような構成を目指しました。

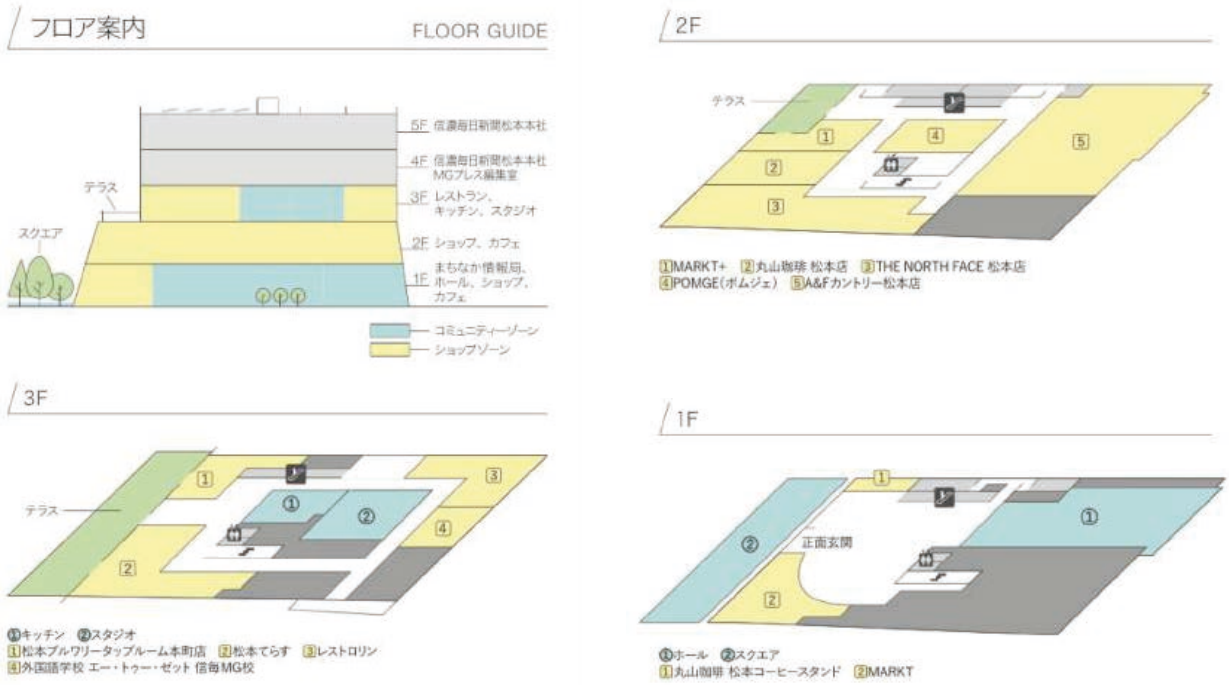
松本の市民、信濃毎日新聞の社員の方々にとっても魅力的に映るような、松本初出店や新業態のテナントは、国内外の観光客も訪れたくなるような地元に由来する企業の出店が中心。また、上高地に向かう方々にとっても有益となるであろう大手アウトドアのテナントも複数オープンします。

ぜひ脚をお運びください。

山田遊

施設特徴

【3F】　信州の食材を楽しめるグルメゾーン。さまざまな人々と食事を楽しみながら交流できる場を提供いたします。
【2F】　生活に潤い、ゆとり、楽しさを求めるお客様に向けて、アウトドア、クラフト、ギフトを中心とした新しいライフスタイルを提案します。
【1Fホール】　天井の高さが5mを超える大空間。さまざまなイベントを開催し、街の賑わいを創出します。



1Fホール

2F

信毎メディアガーデン施設概要

名称	信毎メディアガーデン（シンマイメディアガーデン）
場所	長野県松本市中央2-20-2
URL	https://www.shinmai-mediagarden.jp
開業日時	2018年4月28日（土）12:00
施設面積	8,143㎡
店舗情報	物販5店舗、カフェ2店舗、飲食3店舗、外国語学校１店舗
営業時間	1Fコーヒースタンド8:00～18:00、物販ゾーン10:00～20:00、飲食ゾーン11:00～22:00
休館日	1月1日及び、法定点検日
所有、管理運営	信濃毎日新聞社
設計・監理	株式会社伊東豊雄建築設計事務所
施工	北野建設株式会社
商業ゾーンコンサルティング	株式会社パルコ
テナント内装監理	株式会社パルコ、株式会社パルコスペースシステムズ
グラフィックデザイン	柿木原政広（株式会社10）
家具デザイン	藤森泰司（株式会社藤森泰司アトリエ）
商業ゾーンプロデュース	山田遊（method）
コミュニティデザイン	山崎亮（studio-L）

コミュニティスペースについて

1F ホール

松本市のメインストリートである本町通りから正面玄関を入った1階にある多目的スペース。
5mを超える天井高さを持ち、演奏会や、演劇、展示会などさまざまな催しを繰り広げ、新しい文化発信拠点を目指します。
催しが無い日は、屋内公園として子供からお年寄りまでくつろげる空間となります。
建物東西の扉を開けば、街角からスクエア、ホールへつながる東西60mにも及ぶ、「通り抜け空間」が出現します。

屋外広場「スクエア」

本建物の西側、本町通り、伊勢町通りに面した屋外広場です。
敷地北側には用水を引き込んだ水辺やシンボルとなる科の木がそびえ、周囲は桜並木が木陰をつくります。
祭り舞台の展示や屋台の出店、イベントの会場として、市民行事が盛んな松本の街と一体となった利用が可能です。

3F スタジオ

座席数90の多目的スペースです。通常の会議に対応するのはもちろん、軽い運動にも対応しております。
壁の一面は鏡張り、床は振動が伝わりにくい防振仕様、ガラス壁も二重の防音仕様。
基本的な音響設備、男女更衣室も備え、ダンスの練習にも適しています。

3F キッチン

長野県在住の料理研究家、横山タカ子さんが監修したキッチンです。
アイランド型の調理台と16人分の客席を備え、料理の実演や食事会が開催できます。新商品や料理方法のプロモーション会場に使用できます。

企画プロデューサー　串田和美

演出家・俳優東京都出身、75歳。信濃毎日新聞新松本本社「信毎メディアガーデン」の企画プロデューサーに就任。新施設が持つ情報発信機能を念頭に「地域が元気になり、発想が豊かになるような、地域と共存しあう施設にしたい」と意気込む。
伊東豊雄氏が設計したまつもと市民芸術館（松本市）で芸術監督を務め、新本社建設地では工事中の2015年、16年に野外公演「フライングシアター（空中劇場）」も手掛けた。15年には市民と新本社の在り方について語り合ったまちなかプロジェクトのシンポジウムで「みんなで新しい施設を作っていこうという姿勢は素晴らしい。ぜひお手伝いしたい」と表明。伊東氏とも協議を重ね、施設の基本計画段階から参画した。今後、年5回程度の「串田企画」を開催していく。

今後のイベントについて

「草間彌生ALL ABOUT MY LOVE 私の愛のすべて」館外特別展示
期間：4月28日（土）～5月6日（日） 場所：1階ホール
2018年3月3日(土)～7月22日(日)に松本市美術館で開催されている「草間彌生ALL ABOUT MY LOVE 私の愛のすべて」の館外特別展示として「PUMPKIN2011」を1階ホールで展示いたします。

「伊東豊雄講演会」
日時：2018年5月8日（火）

「チャリティーアートエキジビションPIECE OF PEACE ー「レゴ®ブロック」で作った世界遺産展PART-3ー」
期間：2018年5月12日（土）～6月3日（日）

「江戸の町並みジオラマ展、子ども寄席（信州まつもと大歌舞伎関連公演）」
期間：2018年6月8日（金）～6月18日（月）

©YAYOI KUSAMA

©PIECE OF PEACE

江戸の町並みジオラマ展

出店テナント一覧

MARKT / 1F
食品、キッチン用品、雑貨

MARKT + / 2F
クラフト、家具、文具

2009年創業で、松本市ではラボラトリオの2店舗に続いて3店舗目の出店。
1階店舗では「食のクラフト」をコンセプトに、全国から取り寄せたジャムや調味料、生活雑貨、食器などを取り揃える。毎月第1日曜日には屋外広場「スクエア」でMARKTのファーマーズマーケットを開催予定。2階店舗では市内の工房で手掛けるテーブルや椅子などの家具、洋服を扱う

THE NORTH FACE 松本店/ 2F
アウトドア＆スポーツウェア

タウンウェアとしても使えるスタイリッシュなアウトドアウェアやスポーツウェア、シューズ、バッグなどを取揃える。初心者から上級者まで、その人に合ったアウトドアライフの楽しみ方を提案する。また、北アルプスの玄関口ならではの豊かなアウトドアフィールドを生かし、体験イベントの開催も予定している。

A&Fカントリー松本店/ 2F
アウトドア＆ライフスタイル用品

県内では安曇野店に続く出店。登山やキャンプなどのアウトドア用品のほか、水筒など普段の暮らしでも使い易い用品を多彩に揃える。3階のキッチンで、「スキレット（鋳鉄のフライパン）」の体験会や、火打ち石を使った火おこし体験なども計画中。

松本ブルワリータップルーム本町店/ 3F
クラフトビール

松本市初のクラフトビールメーカーの直営2号店。見晴らしの良いテラス席を備え、醸造所の本物の配管を施すなどのユニークな雰囲気の中、松本のクラフトビールと地元の食材を使った拘りのおつまみとのペアリングが楽しめる。6月には、自社醸造所を竣工予定。

エー・トゥー・ゼット信毎MG校/ 3F
外国語学校

岡谷校、松本校に続く３校目の開校。36年の信頼と実績に基づいたノウハウから、高校生・大学生・一般の方を対象に、外国人講師と日本人講師がそれぞれのニーズに応えた英会話・英語レッスンを開講。４技能を鍛えての新大学入試英語対策・英検・TOEICの集中講座、専門家による留学セミナーの開催など、充実したプログラムが揃っている。

丸山珈琲松本コーヒースタンド/ 1F
コーヒースタンド

丸山珈琲松本店/ 2F
カフェ

1991年創業。軽井沢に本店を置き、長野県内と3都県に10店舗を展開している。
中南信地方への出店は初。1階にコーヒーや新聞を買えるスタンド型店舗、2階に本格カフェを設け、コーヒーの入れ方セミナーなども企画する。

ポムジェ/ 2F
おみやげ、ギフト

県内外で土産品販売などを手掛けるマツザワグループの信州芽吹堂のギフトショップ。店名は造語で、POMME（リンゴ）とGERME（萌芽）を組み合わせている。リンゴなどの信州産フルーツを使った菓子やワイン、シードルなどを販売し、観光客だけでなく、地元のお客様にも愛される商品開発に力を入れている。入試英語対策・英検・TOEICの集中講座、専門家による留学セミナーの開催など、充実したプログラムが揃っている。

松本てらす/ 3F
和食レストラン

諏訪市で「くらすわ」を運営する養命酒製造と、松本市でレストラン「ヒカリヤ」を運営するシックスセンスがコラボレーションした新しいスタイルのレストラン。「城下の台所」をコンセプトに、県内産の食材を使った薬膳など、健康を意識した料理を提供する。

レストロリン/ 3F
ロースト＆グリルレストラン

上田市で2003年に創業。12年に松本市大手に移転、開店した「ロティスリーレストロリン＋8」は市立博物館移転に伴って閉じ、後継店が信毎メディアガーデンに誕生する。オーナーシェフ自ら猟で捕らえたカモなどの新鮮なジビエ料理を中心に、信州の食材を全面に出した料理を提供する。

伊東豊雄
ARCHITECTURE DESIGN
1941年京城（現：ソウル）生まれ、長野県下諏訪町で育つ。1965年東京大学工学部建築学科を卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」（宮城）、「まつもと市民芸術館」（長野）、「みんなの森ぎふメディアコスモス」（岐阜）、「台中国家歌劇院」（台湾）など。日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞。

藤森泰司
FURNITURE DESIGN
1991年東京造形大学卒業後、家具デザイナー大橋晃朗に師事。1992年長谷川逸子・建築計画工房に勤務。1999年「藤森泰司アトリエ」設立。家具デザインを中心に据え、建築家とのコラボレーション、プロダクト・空間デザインを手がける。近年は図書館などの公共施設への特注家具をはじめ、ハイブランドの製品から、オフィス、小中学校の学童家具まで幅広く活動。2016年毎日デザイン賞ノミネート、グッドデザイン特別賞など受賞多数。

山崎亮
COMMUNITY DESIGN
コミュニティデザイナー。愛知県長久手市出身。大阪府立大大学院修了後、設計事務所勤務を経て２００５年に「ｓｔｕｄｉｏ―Ｌ（スタジオエル）」を設立。住民による地域課題の解決を支援する「コミュニティデザイン」に携わり、これまでに全国各地で250件以上のプロジェクトを手掛ける。13年
東大大学院工学系研究科修了。信毎メディアガーデンでは、設計開始当初から「市民と一緒に考える施設づくり」を目指し、「信毎まちなかプロジェクト」を主導。市民100人ヒアリングやワークショップ、企画発表会などを通じて、新施設の在り方を提言した。44歳。

柿木原政広
VI ¦ ART DIRECTION ¦ GRAPHIC DESIGN
1970年広島県生まれ。ドラフトを経て2007年に株式会社10（テン）を設立。JAGDA会員。東京ADC会員。主な仕事にsingingAEON、まいにちAEON CARD、R.O.Uのブランディング、東京国際映画祭、静岡市美術館、松竹芸能株式会社、富士中央幼稚園のCI、美術館のポスターを多く手掛ける。2003年日本グラフィックデザイナーズ協会新人
賞受賞。NewYorkADC賞、ONESHOW PENCIL賞、東京ADC賞、GOOD DESIGN賞受賞。

山田遊
SHOP ZONE PRODUCE
東京都出身。南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method（メソッド）を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。
2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れるショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社が発売される。

株式会社パルコ
SHOP ZONE CONSULTING
パルコは日本の大都市圏を中心に、小売専門店をテナントに集積した商業施設「PARCO」の開発と運営等を中心に行っている。1969年、池袋に「PARCO」第一号店を開店以来、ファッションを核として、新しいライフスタイルの創造に取り組み、現在では、新たな事業モデルである「ゼロゲート」や新業態も積極的に開発・運営を推進している。
2017年度より新規に5カ年の中期経営計画をスタートし、2019年秋には、現在建替えに伴い一時休業中である新生渋谷パルコを開店し、ストアブランドの一層の進化を目指していく。

信濃毎日新聞社について

長野県を中心に発行し、県民から「しんまい」の愛称で広く親しまれている地方紙です。2018年1月の発行部数は47万部を超え、県内市場占有率は70％に迫ります。創刊は1873年（明治6年）。2018年で創刊145年を迎える、日本でも有数の歴史を持つ新聞社です。紙面への評価は高く、その年度の優れた新聞を評価する日本新聞協会賞を1961年（昭和39年）の「漢字テレタイプ導入」から2015年（平成27年）の「御嶽山噴火災害報道」まで、全国の地方紙最多となる15回受賞。同協会の新聞広告賞も多数受賞しています。
本紙に加え、県内各地で、エリア別生活情報誌や就職情報など各種フリーペーパーも多数発行。信越放送、長野朝日放送等、県内民放4局および地域ＦＭ局へも出資し、信州マスコミ界の中核企業として、地域への情報発信力には定評があります。

method

method | メソッド

デザイン、ファッション、アート、工芸、食など、一切のジャンルを問わず、より自由な見地から、あらゆる分野で産み出されるモノに対しての「潤滑油」としての役割を果たすべく、店づくりを中心に、日々、様々な仕事をてがけ、代表 山田遊のもと、ショップのバイイングやディレクションを手掛けています。
methodなりの視点や言葉、また、その結果としての行動と表現を介することで、モノの作り手や売り手、さらには受け手との狭間で媒介となり、良きモノが持続して作られ、また、より良きモノが新たに産み出されていく。
そんな状況が実現することを夢見て、まずは、身の周りから、現状を更新することに対して情熱を注ぎ、結果、より成熟した社会が成立していくことを、理想として掲げています。

山田遊（バイヤー、監修者）

東京都出身。
南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method（メソッド）を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。各種コンペティションの審査員や、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐に渡り活動中。

活動内容一例

ショップディレクション、バイヤー、VMD業務
国立新美術館内ミュージアムショップ「SOUVENIR FROM TOKYO」
国内初のグッドデザイン賞受賞商品の常設型ショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」
職人技の工芸品からご当地食材まで三重を丸ごと楽しめるお店「あびや商店」、etc.

イベント関連
燕三条地域の工場を開放するイベント「燕三条 工場の祭典」全体監修、etc.

プロダクト開発、監修
東京タワー オリジナルグッズ、etc.

贈呈品セレクト
APEC JAPAN 2010（アジア太平洋経済協力会議）、IMF（国際通貨基金）・WB（世界銀行）年次総会 2012、 etc.

methodが運営するギャラリースペース　(PLACE) by method、CIRCLE

ファッションの展示会や受注会、クリエイターの展覧会会場として、活用いただいています。
貸し出し等につきましては、個別にお問い合わせ下さい。

General Contact :　method inc.　150-0011東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号
Tel : 03-6427-9296　Fax : 03-6427-9297　mail : info@wearemethod.com
method Press Support :　HOW INC.
Tel : 03-5414-6405　Fax : 03-5414-6406　mail : info@how-pr.co.jp